

0.1 H23 数学選択

[B] (1) $\alpha^2 - 2 = \sqrt{2}$ より $\sqrt{2} \in \mathbb{Q}(\alpha)$ である. よって $\mathbb{Q}(\sqrt{2}) \subset \mathbb{Q}(\alpha)$.

(2) $\alpha^4 - 4\alpha^2 + 2$ は $\mathbb{Q}[x]$ 上既約である. これは $2 \in \mathbb{Z}$ によってアイゼンシュタインの既約判定法によって $\mathbb{Z}[x]$ 上で既約であることからわかる.

よって $[\mathbb{Q}(\alpha) : \mathbb{Q}] = 4$ である. すなわち $\alpha \notin \mathbb{Q}$ である.

(3) (2) より $[\mathbb{Q}(\alpha) : \mathbb{Q}] = 4$.

(4) (2) より $x^4 - 4x^2 + 2$ である. \mathbb{Q} 上共役は $\pm\alpha, \sqrt{2} - \sqrt{2}$ である.

(5) $\sqrt{2 + \sqrt{2}}\sqrt{2 - \sqrt{2}} = \sqrt{2}$ より $\mathbb{Q}(\alpha) \ni \sqrt{2 - \sqrt{2}}$ となる全ての共役元が $\mathbb{Q}(\alpha)$ に属すから正規拡大. \mathbb{Q} は完全体であるから Galois 拡大.

(6) $\text{Gal}(\mathbb{Q}(\alpha)/\mathbb{Q}) \ni \sigma$ について $\sigma(\sqrt{2 + \sqrt{2}}) = \sqrt{2 - \sqrt{2}}$ とする. $2 + \sigma(\sqrt{2}) = \sigma((\sqrt{2 + \sqrt{2}})^2) = (\sqrt{2 - \sqrt{2}})^2 = 2 - \sqrt{2}$ であるから $\sigma(\sqrt{2}) = -\sqrt{2}$ である.

よって $\sigma^2(\sqrt{2 + \sqrt{2}}) = \sigma(\sqrt{2 - 2\sqrt{2}}) = \sigma(\sqrt{2})/\sigma(\sqrt{2 + \sqrt{2}}) = -\sqrt{2}/(\sqrt{2 - \sqrt{2}}) = -\sqrt{2 + \sqrt{2}}$ である.

よって $\sigma^2 \neq \text{id}$ である.

$[\mathbb{Q}(\alpha) : \mathbb{Q}] = 4$ より $\text{Gal}(\mathbb{Q}(\alpha)/\mathbb{Q}) \cong \mathbb{Z}/4\mathbb{Z}$ である.